

「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（B：裁量無及びその他）

記入日 令和 3 年 4 月 13 日

事業名称		中央図書館事業費〔移動図書館事業〕									
予算科目	款	10	教育費	項	4	社会教育費	目	3	図書館	事業番号	2
事業の種別		☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せなし) ☐ 課内庶務等 ☐ 休止したもの ☒ 廃止したもの									
担当部署・課長名		中央図書館				課	事業		係	課長名	浴 靖子
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。									施策番号	1 - 2	
【施策名】生涯学習の充実									総合計画書(ページ)	35	
この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	東大和市立図書館利用対象者				東大和市民						
	→										
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
図書館から遠い地域の方が、身近な場所で図書等を利用することができるようになる。				移動図書館利用者数/人口							
→											
③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)							
移動図書館みずうみ号の運行				①運行回数 ②貸出点数 →							
指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標				
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標			
	対象指標	①の数値	人	85,377	85,266	85,294					
	成果指標	②の数値	%	1.0	0.9	0.6					
	目 標	②の目標値									
目標値設定の考え方(課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。)											
活動指標	③の数値	①回 ②冊	①111 ②3,017	①115 ②3,430	①98 ②1,715						
3 経費	事業費(実績)		円	1,087,248	1,551,145	270,841	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,380,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	848,567	1,285,278	170,343					
		特定財源	円	238,681	265,867	100,498					
		(うち受益者負担)	円	0	0	0					
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.1	0.1					
		所要人数(再任用)	人	0.1	0.1	0.1					
		職員人件費(再任用以外)	円	824,400	831,000	838,000					
職員人件費(再任用)	円	389,200	301,000	308,500							
事業費+人件費		円	2,300,848	2,683,145	1,417,341						
4 課題	今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) ※廃止したものを除く										
	(令和2年度末に廃止)										
5 今後の方向性	仕事の方向性(「4課題」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など) ※廃止したものを除く										
(令和2年度末に廃止)											